

国際共同研究交通費補助 研究成果報告書

(適宜行追加可)

| | |
|------------------|------------------------------------------------------------------|
| 所属・職・氏名 | 国際学部 教授 長友 淳 |
| 共同研究者 所属・職・氏名 | クイーンズランド大学 名誉上級フェロー 永田由利子博士 |
| 研究課題 | 在豪日系2世の多元的帰属意識に関する質的社会調査 |
| 共同研究 実施期間 | 派遣期間： 2025 年 10 月 10 日 ~ 2025 年 10 月 20 日 招聘期間： 年 月 日 ~ 年 月 日 |
| 共同研究 実施場所 | クイーンズランド大学 |

1. 研究の成果（本共同研究によって得られた新たな知見、成果等を簡潔に記述してください。該当しない場合は「該当なし」と記載してください。）

(1) 学術的価値（本研究により得られた新たな知見や概念の展開等、学術的成果）

永田博士の歴史学的アプローチと申請者が実施している質的社会学の協働により、ニッケイコミュニティや日系住民を時間軸と動態性に満ちた新たな視点で捉える理論的方向性を得ることができた。現地調査では日系にルーツを持つ現地大学生への半構造化インタビューを実施し、彼らのホーム概念が動態性に満ちている様相、および彼らの日本語や日本文化をめぐるメディア利用の日常的実践に関する質的データを収集することができた。これらを通して、今後論文を執筆する上でベースとなるデータ量を得ることができた。

また、クイーンズランド大学にて現地日系団体Nikkei Australia代表のElysha Rei氏、および日系人Steve Dawson氏をゲストスピーカー、共同研究者永田博士および長友をディスカッサントとしたシンポジウムを開催し、研究の動向やその理論的解釈に関する洞察を深める機会となった。

(2) 相手国との交流（海外の研究者と学術交流することによって得られた効果）

永田由利子博士は、在豪日本人移民研究のパイオニアであり、現地日系コミュニティを代表する存在の一人である。また、シンポジウムで登壇・ディスカッションを行ったElysha Rei氏は現地日系団体の代表を務めている。今回の研究・滞在をとおして、現地日系社会との学術的および社会的つながりを深めることができた点は有意義であった。

(3) 社会貢献（社会の基盤となる文化の継承と発展、社会生活の質の改善、現代的諸問題の克服と解決に資する等の社会的貢献）

今回のシンポジウムは、大学キャンパス内での実施のため限定的機会であったが、現地日系新聞への掲載によって、現地の日系社会における日系ルーツ継承をめぐる語りや歴史の継承の機会ともなった。

(4) 若手研究者養成への貢献（若手研究者養成への取り組み、成果）

今回の半構造化インタビューは、質問リストを共有した上で、学生調査員を動員したグループ面接法の手法をとった。またシンポジウムの司会・運営には本学学生が携わった。これらの取り組みを通して、彼らの将来的な研究・実務運営の技術向上にもつながった。

(5) 将来発展可能性（本研究を実施したことにより、今後どのような発展の可能性が認められるか）

今回の研究およびシンポジウム開催は、クイーンズランド大学永田由利子博士の人脈を通して実現に至った。また、今回の調査を経て現地日系団体Nikkei Australiaとの関係性を構築することができた。それらの関係性は、申請者が今後現地で調査を円滑に進めていく上で重要な基盤となるものである。

また、理論的には日系ルーツを持つ住民にとっての「日系のラベル」に関して時間軸や動態性を伴う視点を踏まえた考察を行う必要性を見出し、今後の研究や分析の軸を見出すことができた。

(6) その他（上記（1）～（5）以外に得られた成果があれば記述してください。）

例：大学間協定の締結、他事業への展開、受賞、産業財産権の出願・取得等

永田博士の所属先およびシンポジウム開催先であるクイーンズランド大学は、本学がダブルディグリープログラムを締結している大学であり、協定校の中でも本学と関係性が深い大学である。クイーンズランド大学側にはシンポジウム開催にあたって多大なご協力をいただいたほか、アフタヌーンティーの開催や協定関係担当教員（Monica Chien博士）および職員（Lisa Drew氏）の参加も行っていただき、本学とクイーンズランド大学の関係性を深める機会ともなった。

2. 研究発表（本共同研究の一環として発表（予定含む）したものについて記述してください。なお、印刷物がある場合は1部添付してください。）

例：共著論文、口頭発表、出版、ポスター発表

10月17日にシンポジウムNikkei: Japanese Community in the Past and Presentをクイーンズランド大学にて開催し、現地の日系新聞 Nichigo Press に記事が掲載された。